

特性の分析

・ 特性の把握と適切な対応

この演習では、下記の資料を使用します。お手元にご準備ください。

【差込資料②～⑤】

「行動チェックシート」「特性確認シート」「環境確認シート」「強み（ストレングス）確認シート」

【ワークシート②～⑦】

「行動チェックシート（冰山演習用）」「冰山モデルシート」「特性確認シート（冰山演習用）」

「環境確認シート（冰山演習用）」「冰山モデルシート（グループ用）」

「強み（ストレングス）確認シート（冰山演習用）」

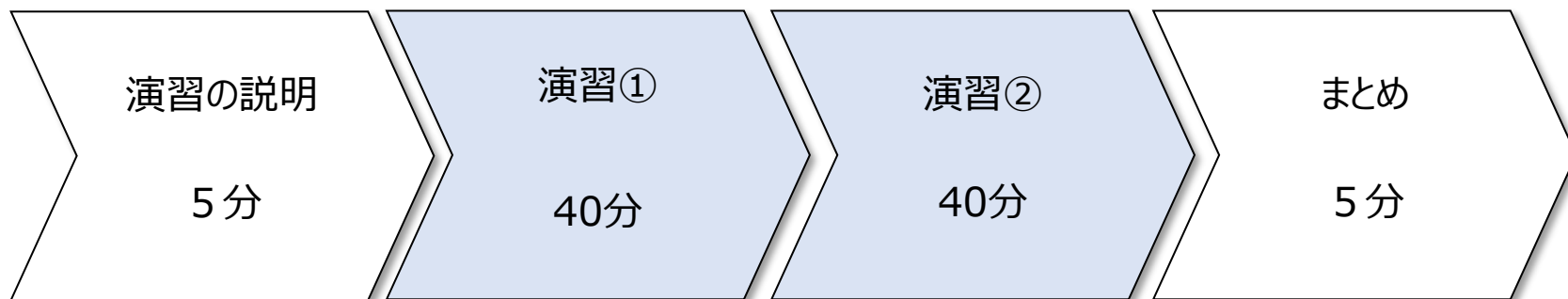
この時間で学ぶこと

- ・ 本人が表す行動について、支援者がその行動の背景にある理由が分からないため、自分なりの解釈をし、その結果として誤った対応を行ってしまうことがあります。
この時間は、行動の背景について考え、行動が起きている理由を整理する考え方を学びます。

【ポイント】

- ①補助シートを使い冰山モデルシートの使い方を学びましょう
- ②行動の背景にある【本人の特性】と【環境・状況】の相互作用を確認しましょう

この時間の流れ



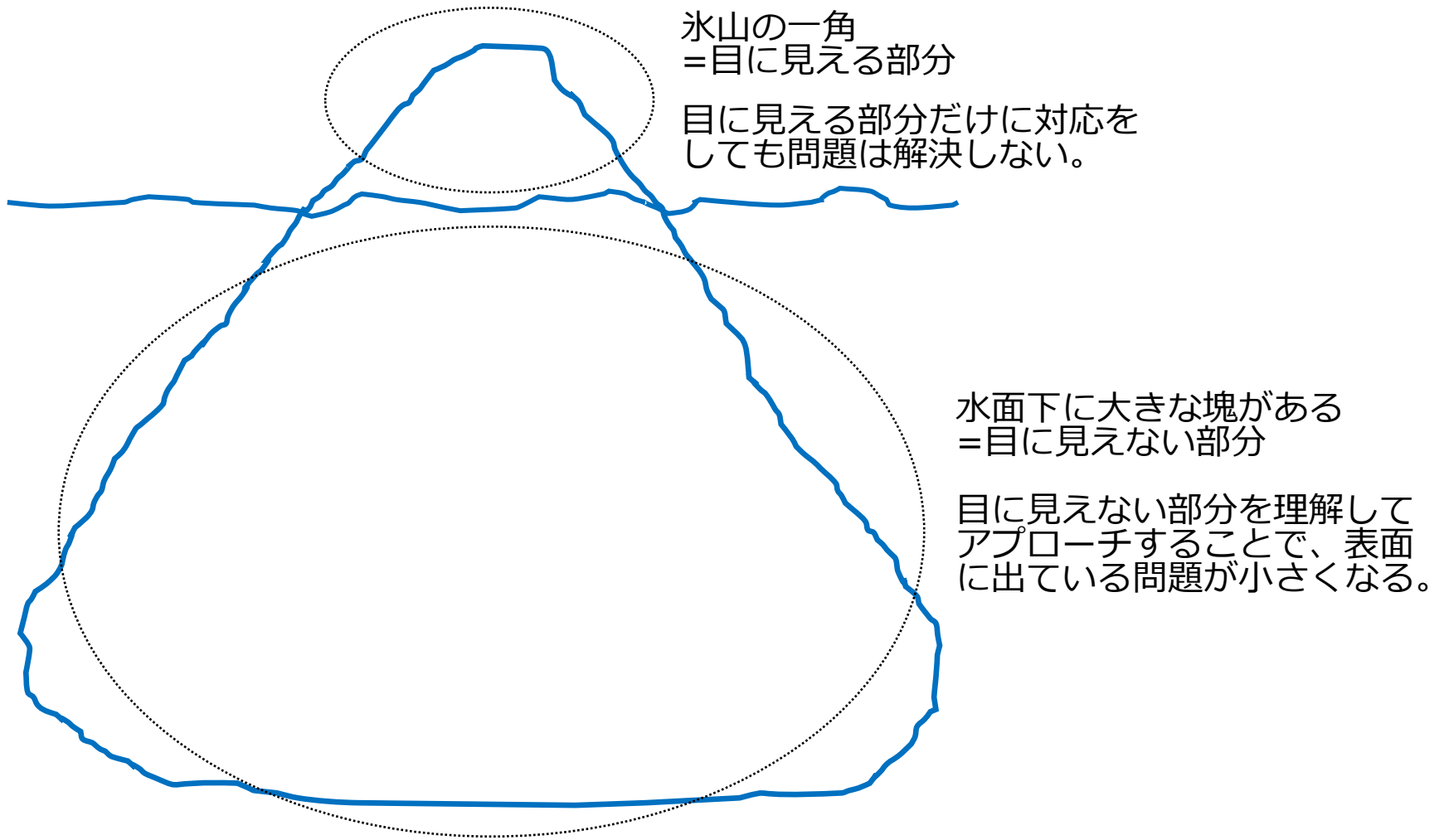
演習①：事例対象者の行動の背景を障害特性や環境から講師の解説とともに、個人ワークで学びます。

演習②：事例対象者の支援のアイデアを根拠をもとに整理する方法を個人・グループワークで学びます。

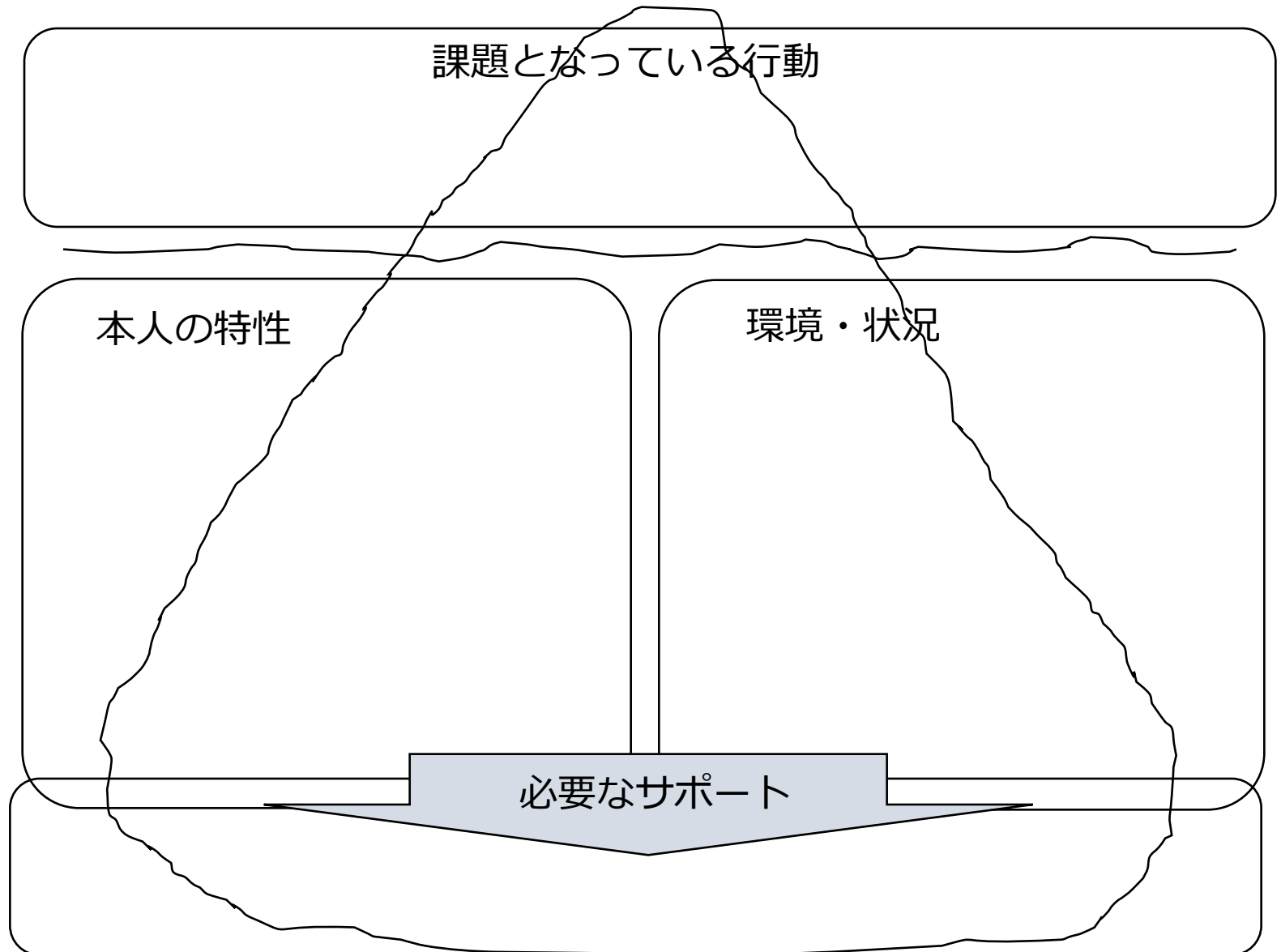
冰山って知ってますか？



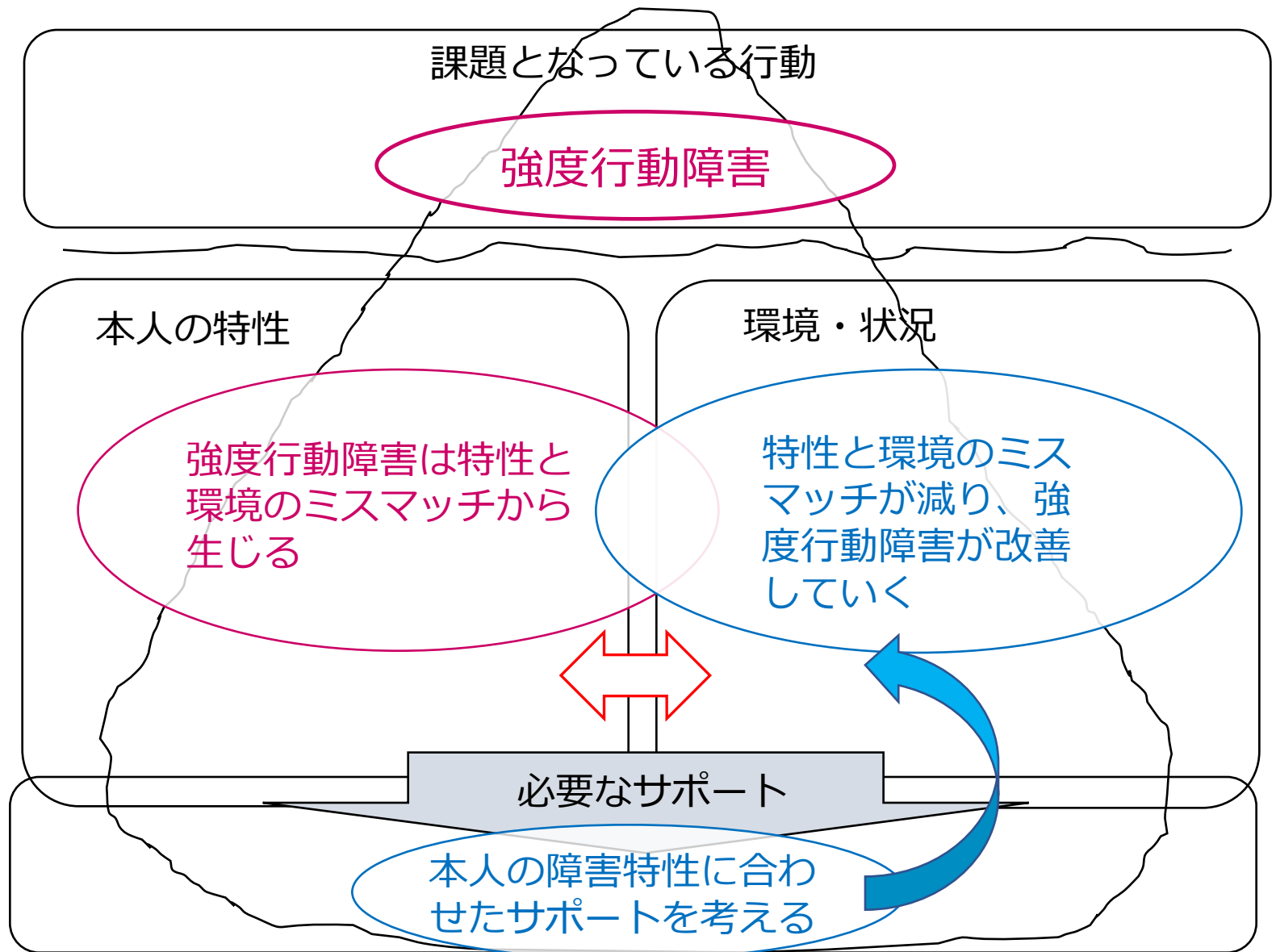
行動の背景を知るための「冰山モデル」



冰山モデルシート



氷山モデルシート



氷山モデルシートと補足シートの関係

行動チェックシート		
	前	✓
社会性	人々集団との関係に馴染みがある	
	人々との関わりが一方的なことが多い	
	相手の気持ちに配慮しない行動をする	
状況の理解が深い	二：周囲に合わせて行動できない	
	一：周囲の状況に対して理解が深くない	
	三：危険や危険、社会のルールに理解がない行動をする	
コミュニケーション	三：言葉で指示しても行動できない	
	二：言葉で指示されたことを実行できず	
	一：相手の言葉とその意味が通ずる（フィードバック）	
理解が深い	二：行動が言葉など自分の気持ちを伝えない	
	一：言葉で自分の気持ちを伝えることができる	
	三：言葉で自分の気持ちを伝えることができる	
やりとりが深い	二：やりとりが浅い	
	一：やりとりが深い	
感情力	三：言葉が通じない	
	二：言葉が通じない	
	一：言葉が通じない	
能力	三：自分から動けない	
	二：自分から動けない	
	一：自分から動けない	
感情力	三：自分から動けない	
	二：自分から動けない	
	一：自分から動けない	
感情力	三：自分から動けない	
	二：自分から動けない	
	一：自分から動けない	

特性確認シート		
	課題となっている行動（本人が困っている行動）	支援のアイデア
社会性	一：相手の気持ちに寄り添えない	A) 相手の気持ちに寄り添えない
	二：相手の気持ちに寄り添えない	B) 相手の気持ちに寄り添えない
	三：相手の気持ちに寄り添えない	C) 相手の気持ちに寄り添えない
状況の理解が深い	一：相手の気持ちに寄り添えない	D) 相手の気持ちに寄り添えない
	二：相手の気持ちに寄り添えない	E) 相手の気持ちに寄り添えない
	三：相手の気持ちに寄り添えない	F) 相手の気持ちに寄り添えない
コミュニケーション	一：相手の気持ちに寄り添えない	G) 相手の気持ちに寄り添えない
	二：相手の気持ちに寄り添えない	H) 相手の気持ちに寄り添えない
	三：相手の気持ちに寄り添えない	I) 相手の気持ちに寄り添えない
理解が深い	一：相手の気持ちに寄り添えない	J) 相手の気持ちに寄り添えない
	二：相手の気持ちに寄り添えない	K) 相手の気持ちに寄り添えない
	三：相手の気持ちに寄り添えない	L) 相手の気持ちに寄り添えない
やりとりが深い	一：相手の気持ちに寄り添えない	M) 相手の気持ちに寄り添えない
	二：相手の気持ちに寄り添えない	N) 相手の気持ちに寄り添えない
	三：相手の気持ちに寄り添えない	O) 相手の気持ちに寄り添えない

環境確認シート		
項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・顔・声・顔・顔に書いて等） 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	何をするべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所でも複数の目的の活動をしていますか 何をするべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所でも複数の目的の活動をしていますか その他	
場所	何をするべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所でも複数の目的の活動をしていますか 何をするべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所でも複数の目的の活動をしていますか その他	
状況	本人の体調はいいものかどうですか その活動の目的に本人の身体が適しているのかどうですか その活動の目的に本人の身体が適しているのかどうですか その他	
音	その場所にはどんな音がしていますか その中に本人が苦手なものはありますか	
気温	その場所の気温は快適に感じていますか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものでしょうか	
湿度	その場所の湿度は快適に感じていますか（あるいは蒸気が多い・乾燥している等） その湿度は本人にとって快適なものでしょうか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていますか その中に本人が苦手なものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる原因になるかもしれないもの	

強み（ストレンス）確認シート		
	本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況
わかること・できること	本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況
	本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況
	本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況
わかること・できること	本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況
	本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況
	本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況
わかること・できること	本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況
	本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況
	本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況

行動チェックシート

特性確認シート

環境確認シート

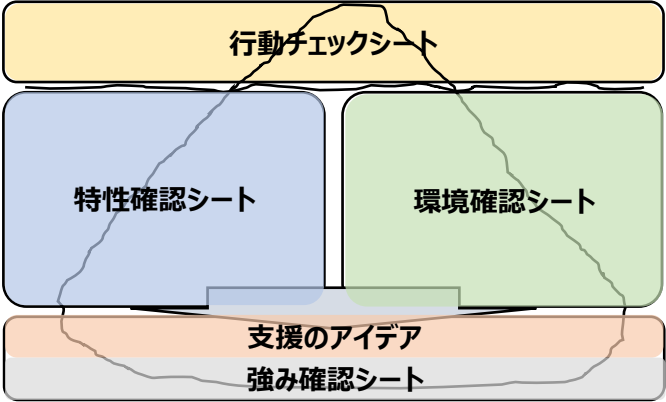
強み確認シート

支援のアイデア

氷山モデルシートと 補足シートの関係

行動チェックシート			
項目	内容	進捗	担当者
1. 現状把握	1. 現状把握の目的を明確にする		
	2. 現状把握の範囲を決定する		
	3. 現状把握の方法を決定する		
	4. 現状把握の結果を整理する		
2. 問題点の特定	1. 問題点の特定を行う		
	2. 問題点の特定の方法を決定する		
	3. 問題点の特定の結果を整理する		
	4. 問題点の特定の方法を決定する		
3. 原因の特定	1. 原因の特定を行う		
	2. 原因の特定の方法を決定する		
	3. 原因の特定の結果を整理する		
	4. 原因の特定の方法を決定する		
4. 対策の立案	1. 対策の立案を行う		
	2. 対策の立案の方法を決定する		
	3. 対策の立案の結果を整理する		
	4. 対策の立案の方法を決定する		
5. 実施計画の作成	1. 実施計画の作成を行う		
	2. 実施計画の作成の方法を決定する		
	3. 実施計画の作成の結果を整理する		
	4. 実施計画の作成の方法を決定する		
6. 実施の進捗管理	1. 実施の進捗管理を行う		
	2. 実施の進捗管理の方法を決定する		
	3. 実施の進捗管理の結果を整理する		
	4. 実施の進捗管理の方法を決定する		
7. 評価と改善	1. 評価と改善を行う		
	2. 評価と改善の方法を決定する		
	3. 評価と改善の結果を整理する		
	4. 評価と改善の方法を決定する		

特性確認シート		
項目	内容	進捗
1. 現状把握	1. 現状把握の目的を明確にする	
	2. 現状把握の範囲を決定する	
	3. 現状把握の方法を決定する	
	4. 現状把握の結果を整理する	
2. 問題点の特定	1. 問題点の特定を行う	
	2. 問題点の特定の方法を決定する	
	3. 問題点の特定の結果を整理する	
	4. 問題点の特定の方法を決定する	
3. 原因の特定	1. 原因の特定を行う	
	2. 原因の特定の方法を決定する	
	3. 原因の特定の結果を整理する	
	4. 原因の特定の方法を決定する	
4. 対策の立案	1. 対策の立案を行う	
	2. 対策の立案の方法を決定する	
	3. 対策の立案の結果を整理する	
	4. 対策の立案の方法を決定する	
5. 実施計画の作成	1. 実施計画の作成を行う	
	2. 実施計画の作成の方法を決定する	
	3. 実施計画の作成の結果を整理する	
	4. 実施計画の作成の方法を決定する	
6. 実施の進捗管理	1. 実施の進捗管理を行う	
	2. 実施の進捗管理の方法を決定する	
	3. 実施の進捗管理の結果を整理する	
	4. 実施の進捗管理の方法を決定する	
7. 評価と改善	1. 評価と改善を行う	
	2. 評価と改善の方法を決定する	
	3. 評価と改善の結果を整理する	
	4. 評価と改善の方法を決定する	

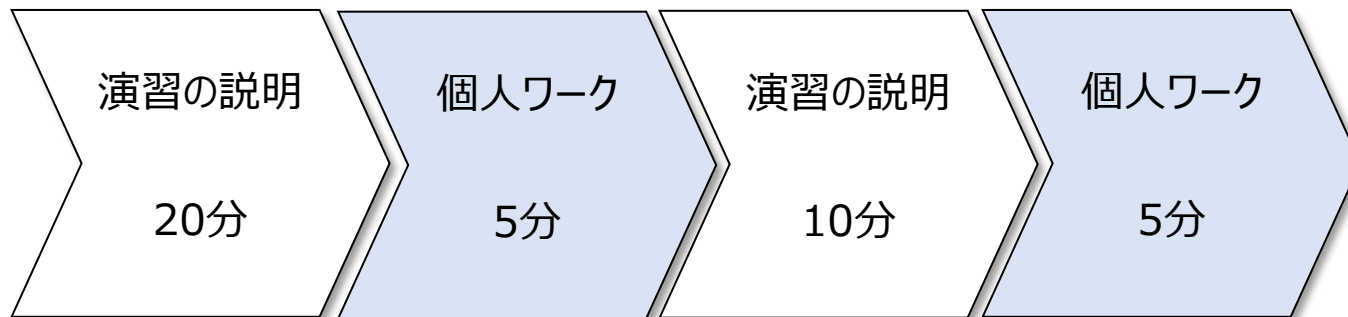


環境確認シート		
項目	確認事項	確認結果
人	1. 関係者の特定	
	2. 関係者の役割	
	3. 関係者の関係性	
	4. 関係者の責任	
物	1. 関係者の特定	
	2. 関係者の役割	
	3. 関係者の関係性	
	4. 関係者の責任	
場所	1. 関係者の特定	
	2. 関係者の役割	
	3. 関係者の関係性	
	4. 関係者の責任	
状況	1. 関係者の特定	
	2. 関係者の役割	
	3. 関係者の関係性	
	4. 関係者の責任	
資源	1. 関係者の特定	
	2. 関係者の役割	
	3. 関係者の関係性	
	4. 関係者の責任	
温度	1. 関係者の特定	
	2. 関係者の役割	
	3. 関係者の関係性	
	4. 関係者の責任	
備い	1. 関係者の特定	
	2. 関係者の役割	
	3. 関係者の関係性	
	4. 関係者の責任	
その他	1. 関係者の特定	
	2. 関係者の役割	
	3. 関係者の関係性	
	4. 関係者の責任	

強み確認シート	
項目	内容
1. 現状把握	1. 現状把握の目的を明確にする
	2. 現状把握の範囲を決定する
	3. 現状把握の方法を決定する
	4. 現状把握の結果を整理する
2. 問題点の特定	1. 問題点の特定を行う
	2. 問題点の特定の方法を決定する
	3. 問題点の特定の結果を整理する
	4. 問題点の特定の方法を決定する
3. 原因の特定	1. 原因の特定を行う
	2. 原因の特定の方法を決定する
	3. 原因の特定の結果を整理する
	4. 原因の特定の方法を決定する
4. 対策の立案	1. 対策の立案を行う
	2. 対策の立案の方法を決定する
	3. 対策の立案の結果を整理する
	4. 対策の立案の方法を決定する
5. 実施計画の作成	1. 実施計画の作成を行う
	2. 実施計画の作成の方法を決定する
	3. 実施計画の作成の結果を整理する
	4. 実施計画の作成の方法を決定する
6. 実施の進捗管理	1. 実施の進捗管理を行う
	2. 実施の進捗管理の方法を決定する
	3. 実施の進捗管理の結果を整理する
	4. 実施の進捗管理の方法を決定する
7. 評価と改善	1. 評価と改善を行う
	2. 評価と改善の方法を決定する
	3. 評価と改善の結果を整理する
	4. 評価と改善の方法を決定する

演習① | 行動の背景を考える

- 行動チェックシートと冰山モデルシートを使用します
- 特性確認シートと冰山モデルシートを使用します
- 環境確認シートと冰山モデルシートを使用します



田中さんの公園での水遊び

検討したい行動を見てみましょう

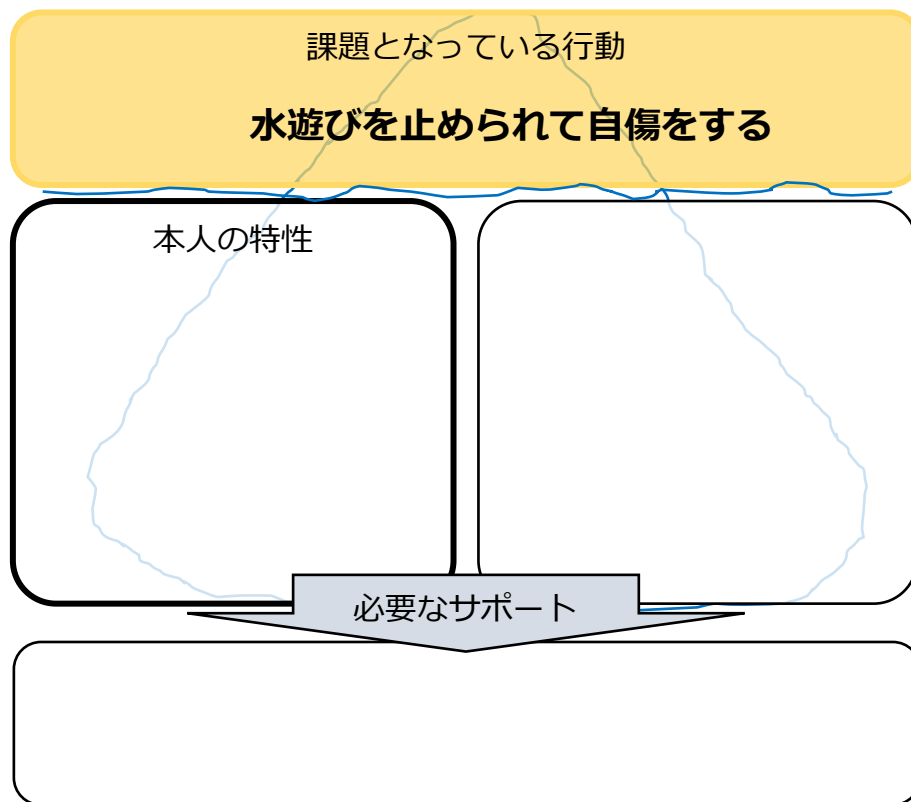


まず「行動チェックシート（冰山演習用）」と「冰山モデルシート」を使います

行動チェックシート(冰山演習用)

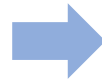
		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	橋筋歩道で安全確認をしないで走る 公園の水道で水遊びをする。水遊びを止められて自傷をする
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしなくても行動できない	✓	ヘルパーの声かけだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことを進んでやる	✓	ヘルパーが終わって言うこともやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコノリア）		「行きまようかに」「行きまようかに」と答える
	伝達が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	公園の柵や水道を見たと親行動に移す
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
想像力	やりとりが難しい	ス: やりとりがわからない		
		セ: やりとりがわからない	✓	ヘルパーの声かけにはエコノリアで答えるより
		ソ: 唐突に話しかけられたり、黙らなさいと言われることがある		
	自分と予定をひくことが難しい	タ: やるべきでないことを行っている、しつこくしている		
		チ: 「自分から動くことができない	✓	柵につかまり固れる。水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		ツ: 予定の変更し、混乱することが多い		
感覚	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えることが難しい		
		ト: 言葉が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	水遊びをやめることができない。止められて自傷をする
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
		ネ: 自分の興味があるものを以外に関心を示すことができない		
		ノ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ハ: 耳を覆く、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に耳を塞いでいる
		ヘ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	水を触りたいがる
		フ: 強い痛み、刺激の強い味を好み、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ベ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり固っていた

冰山モデルシート



田中さんの気になる行動の中から検討する行動を決めます

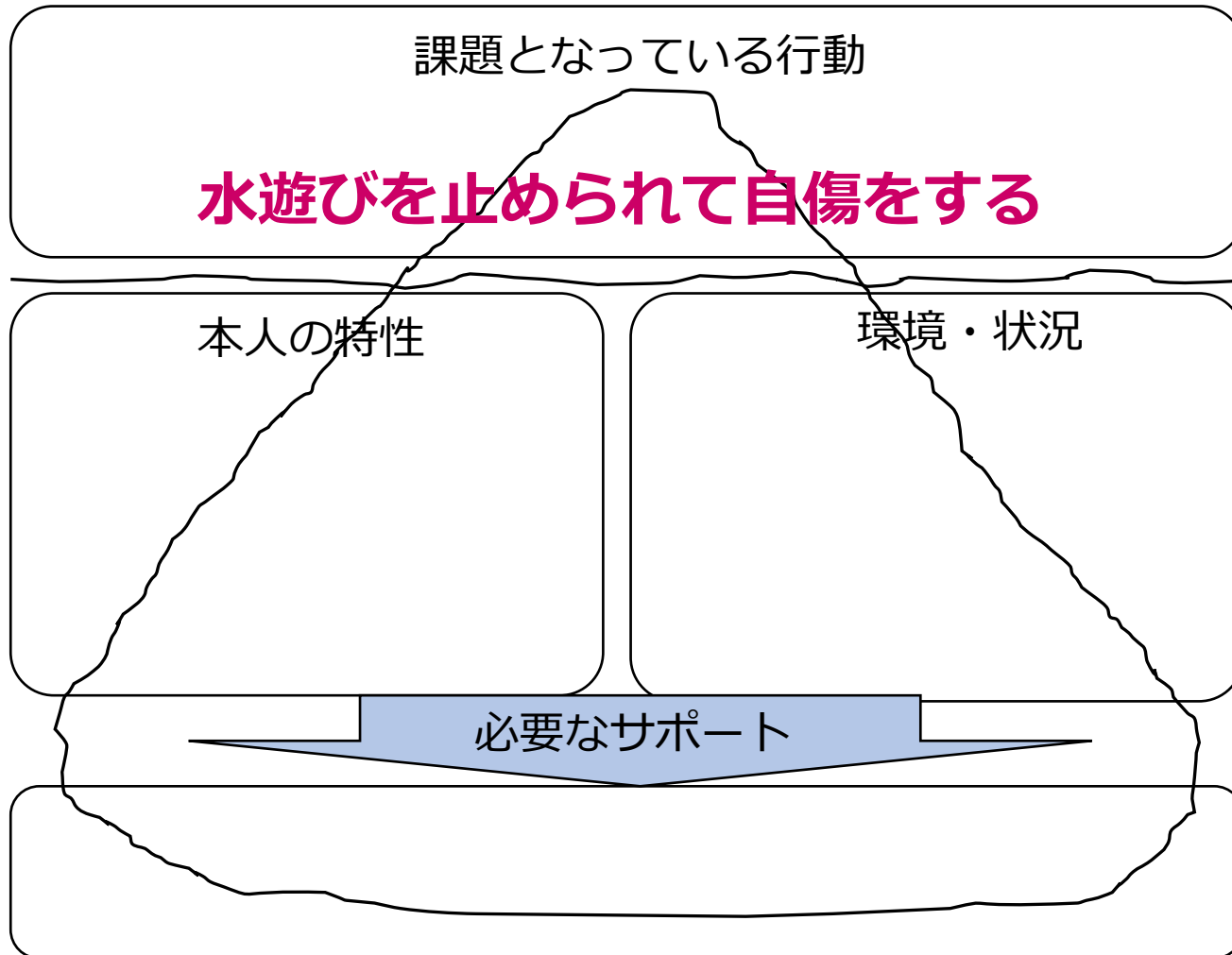
		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	横断歩道で安全確認をしないで走る 公園の水道で水遊びをする・水道が止められ自傷する
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声かけだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	「行きましようか」に「行きましようか」と答える
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	公園の柵や水道を見ると即行動に移す
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス: やりとりが合わない		
		セ: やりとりが続かない	✓	ヘルパーの声かけにはエコーリアで答えるだけ
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	柵につかまり揺れる、水道びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	水遊びをやめることができない 止められて自傷をする
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
		ネ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に目を塞いでいる
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	水を触れたがる
		フ: 苦しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎにがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた



水遊びを止められて自傷をする

今回は、この行動について検討していくことにします

氷山モデルを使って田中さんの行動を整理します



課題となっている行動

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動
2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動
3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動

以上3つの条件のうち少なくともひとつに該当する行動と言われる。

参考文献『発達障害児の問題行動その理解と対応マニュアル』志賀利一

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動

→自傷で田中さんがケガをするかもしれない

2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動

→大声を聞いた周囲の人が恐怖を感じるかもしれない

→支援者も恐怖を感じるかもしれない

3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動

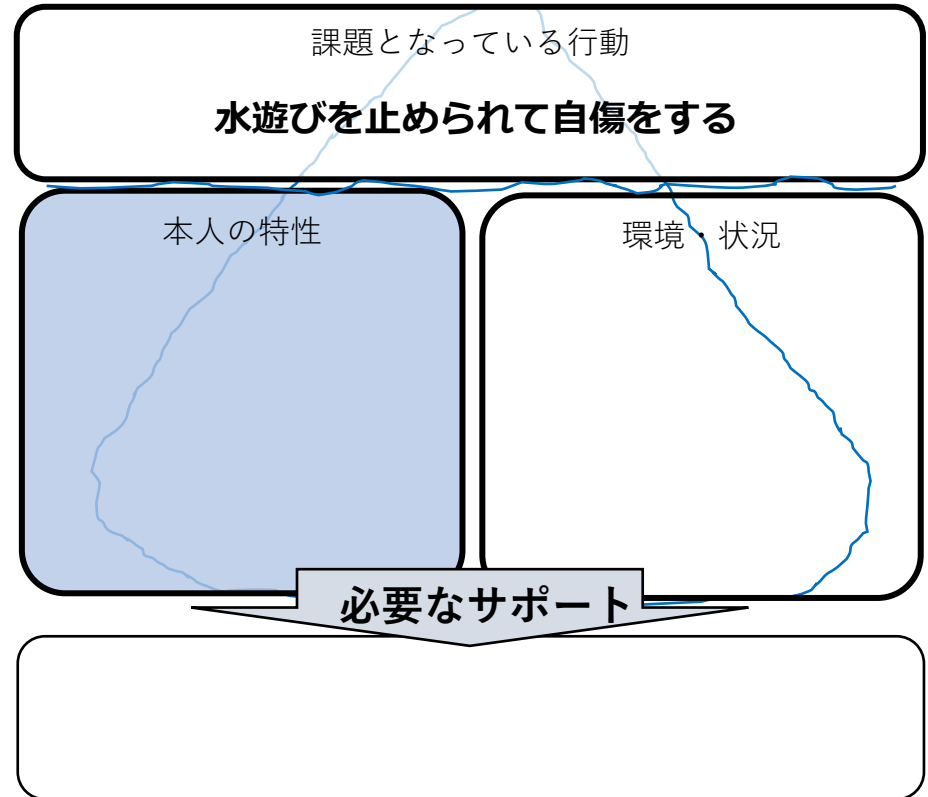
→次の活動場所に移れないかもしれない

次に「特性確認シート（冰山演習用）」を使って 本人の特性を整理します

特性確認シート（冰山演習用）

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			支援のアイデア	
	背景となる特性			
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える（見え方の視点・やりとりの視点）
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい		
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい		
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い		B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える（見え方の視点・やりとりの視点）
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	✓	
		6) 見えないものの理解が難しい	✓	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのかんことを理解するのが難しい		
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい		E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点）
		11) どのように伝えたらいいかわからない	✓	
		12) 誰に伝えていいかわからない		
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい		G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える（時間の視点）
		17) なんとなく、たいたいなどのイメージを持ちにくい		
		18) 今やることを自分で判断することが難しい		
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい		H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする（時間の視点・場所の視点）
		20) 臨機応変に判断することが難しい		
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい		
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い		I) 活動に興味や目的を持つことができる工夫をする（方法の視点）
		23) 細部が気になり違いに敏感		
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる		
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	✓	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする（場所の視点）
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある		
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	✓	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある		L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する（場所の視点）
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある		
		30) 前庭覚の特有の感覚がある		

冰山モデルシート



田中さんが水遊びを止められない理由や止められて自傷をする理由を考えます

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難し さがある	1) 相手への関心が薄い	✓
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	✓
		6) 見えないものの理解が難しい	✓
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓
		8) 一度にたくさんのことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
		11) どのようにして伝えたいかわからない	✓
		12) 誰に伝えていいかわからない	
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが 難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い 興味	22) 興味関心が狭くて強い	
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	✓
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	✓
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

田中さんが水遊びを止められない理由や止められて自傷をする理由を考えます

課題となっている行動（本人が困っている行動）『水遊びを止められて自傷をする』				
		背景となる特性		支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓	汲み取ってもらう、察してもらうではなく、 A) 具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える （見え方の視点・やりとりの視点）
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい		
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい		
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起きていることへの関心が薄い		「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかる C) ように伝える（方法の視点・やりとりの視点）
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	✓	
		6) 見えないものの理解が難しい	✓	

＜次のような仮説を立てながらチェックを入れます。＞

「相手への関心が薄い」**ので**、
「支援者の指示に注目しにくかった」**かもしれない**。

田中さんが水遊びを止められない理由や 止められて自傷をする理由を考えます

課題となっている行動（本人が困っている行動）『水遊びを止められて自傷をする』				
		背景となる特性		支援のアイデア
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓	本人が理解できる見える情報（文章、単 D) 語、絵、写真、シンボル、具体物など）で 伝える（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのことを理解するのが難しい		
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい		本人が発信しやすいツールを（文章、単 E) 語、絵、写真、シンボル、具体物など）提 供する（やりとりの視点・見え方の視点）
		11) どのようにして伝えたらいいかわからない	✓	
		12) 誰に伝えていいかわからない		
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		F) 視覚的なツールでやりとりができるように する（やりとりの視点・見え方の視点）
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい		

田中さんが水遊びを止められない理由や 止められて自傷をする理由を考えてみましょう

課題となっている行動（本人が困っている行動）『水遊びを止められて自傷をする』				
		背景となる特性		支援のアイデア
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい		G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える （時間の視点）
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい		
		18) 今やることを自分で判断することが難しい		
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい		H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする （時間の視点・場所の視点）
		20) 臨機応変に判断することが難しい		
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい		
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い		I) 活動に意味や目的を持つことができる 工夫をする（方法の視点）
		23) 細部が気になり違いに敏感		
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる		

背景となる特性をチェックするにあたって、次のような仮説を立てて説明できるようにしてください。

(背景となる特性)

(本人の具体的な行動)

「 」ので、「 」かもしれない。

「 」ので、「 」かもしれない。

「 」ので、「 」かもしれない。

田中さんが水遊びを止められない理由や 止められて自傷をする理由を考えます

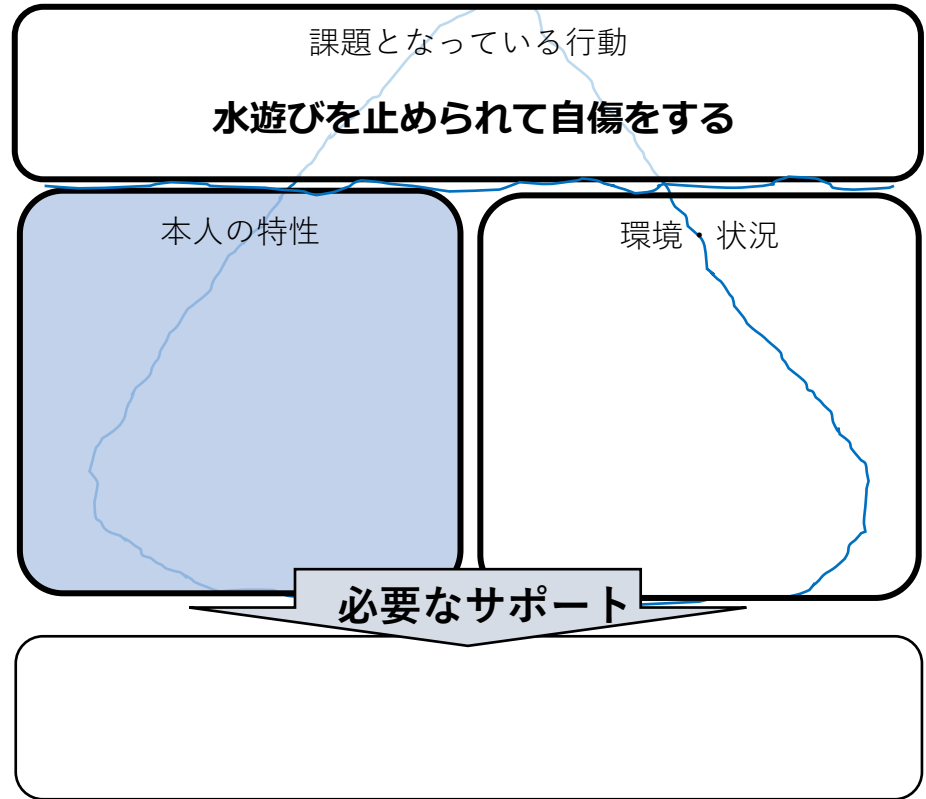
課題となっている行動（本人が困っている行動）『水遊びを止められて自傷をする』				
		背景となる特性		支援のアイデア
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	✓	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする （場所の視点） L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する （場所の視点）
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある		
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	✓	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある		
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある		
		30) 前庭覚の特有の感覚がある		

確認した特性を「冰山モデルシート」に記入しましょう

特性確認シート（冰山演習用）

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	✓
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	✓
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	✓
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	✓
		6) 見えないものの理解が難しい	✓
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓
		8) 一度にたくさんのかんことを理解するのが難しい	✓
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	✓
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	✓
		11) どのようにして伝えたいのか分からない	✓
		12) 誰に伝えていい分からない	✓
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	✓
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	✓
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい	✓
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	✓
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	✓
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	✓
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	✓
		20) 臨機応変に判断することが難しい	✓
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	✓
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	✓
		23) 細部が気になり違いに敏感	✓
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	✓
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	✓
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	✓
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	✓
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	✓
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	✓
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	✓

冰山モデルシート



課題となっている行動

水遊びを止められて自傷をする

本人の特性

環境・状況

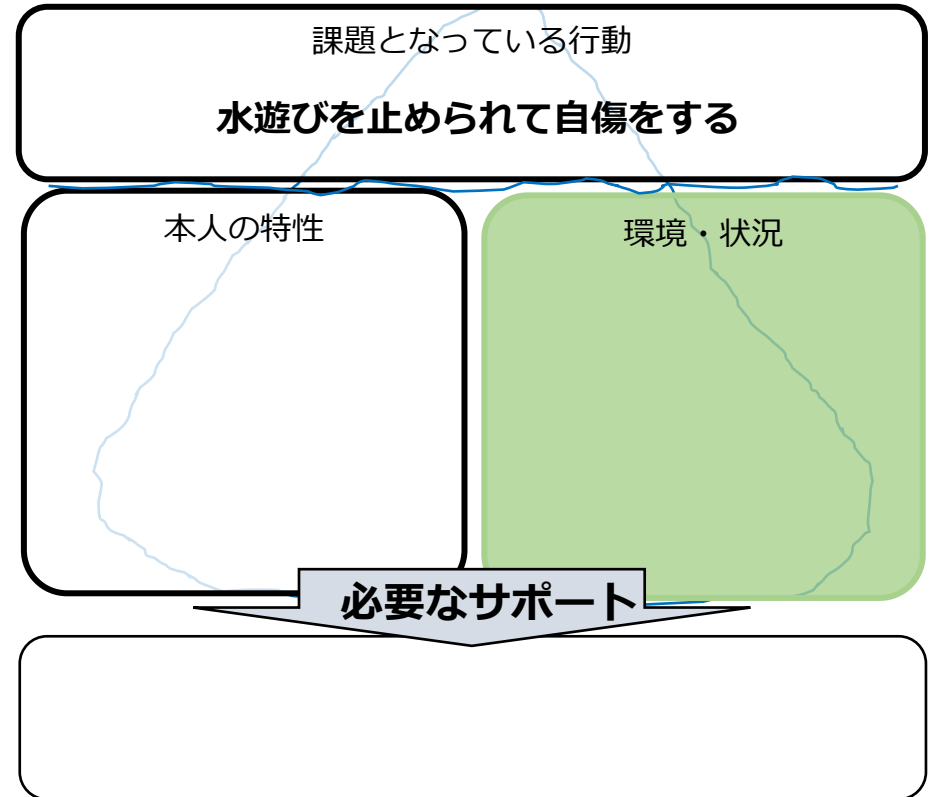
必要なサポート

次に「環境確認シート（冰山演習用）」を使って、行動に影響を与えている環境や状況を整理します

環境確認シート（冰山演習用）

冰山モデルシート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見えると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありませんか その他	水道が見えやすい
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	公園での目的は「柵でゆれる」か、 「水道で遊ぶ」に見えていた
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	どうなったら終わりがわかりにくい 公園に何をしに行ったのかわからない
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものです	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものです	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	



次のような項目を点検していきます

環境確認シート（氷山演習用）

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	水道が見えやすい
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	公園での目的は「柵でゆれる」か、 「水道で遊ぶ」に見えていた
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうしたら終わるのかなど）は理解できていますか その他	どうなったら終わりがかわかりにくい 公園に何をしに行ったのかわからない

次のような項目を点検していきます

環境確認シート（冰山演習用）

項目	環境確認の視点	具体的な環境
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

「人」について気づいたことを記入してみましょう

環境確認シート（氷山演習用）

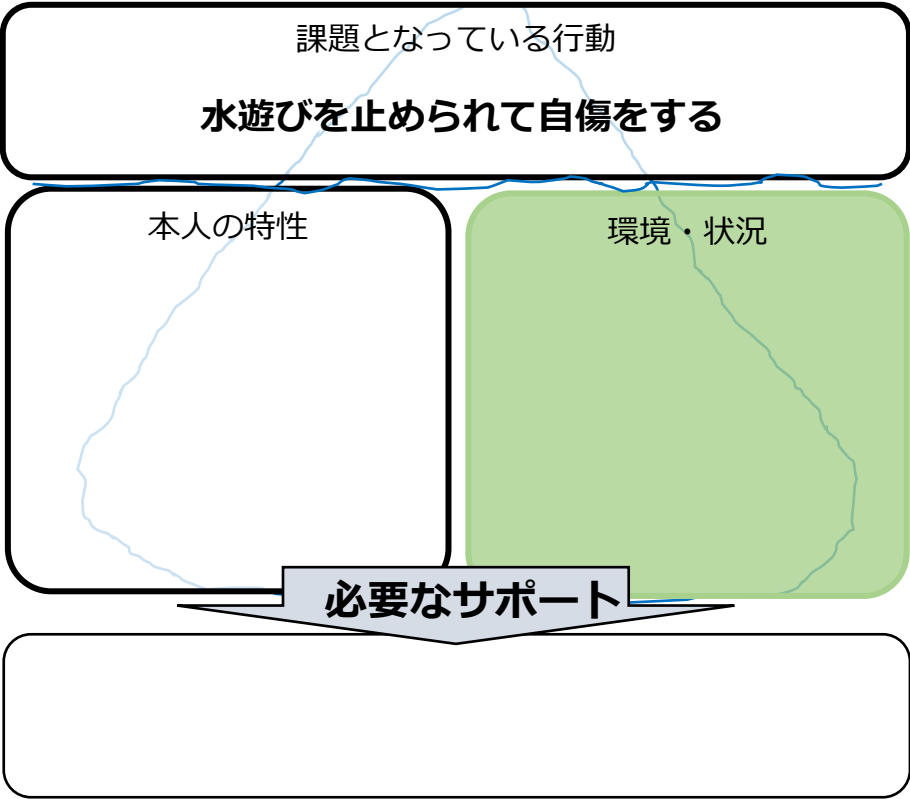
項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	水道が見えやすい
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	公園での目的は「柵でゆれる」か、 「水道で遊ぶ」に見えていた
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	どうなったら終わりがかわかりにくい 公園に何をしに行ったのかわからない

確認した環境を「冰山モデルシート」に記入しましょう

環境確認シート（冰山演習用）

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見えると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありませんか その他	水道が見えやすい
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	公園での目的は「柵でゆれる」か、 「水道で遊ぶ」に見えていた
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	どうなったら終わりがわかりにくい 公園に何をしに行ったのかわからない
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものです	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものです	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

冰山モデルシート



課題となっている行動

水遊びを止められて自傷をする

本人の特性

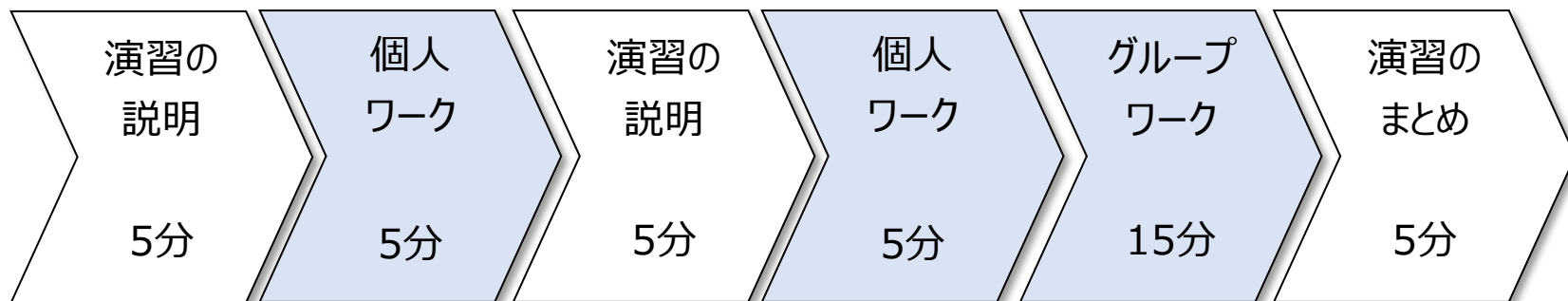
環境・状況

必要なサポート

演習② | 支援のアイデアを考える

- 特性確認シートと冰山モデルシートを使用します
- 強み確認シートと冰山モデルシートを使用します

【演習の流れ】

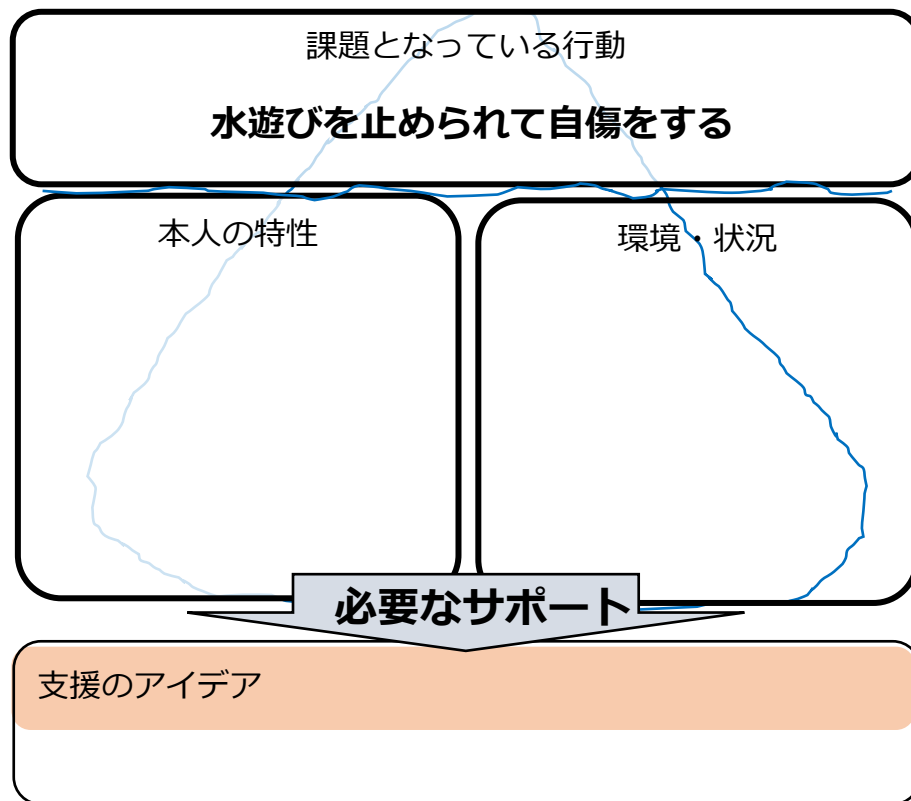


次に必要なサポートを、「特性確認シート（氷山演習用）の支援のアイデア」を使って整理します

特性確認シート(氷山演習用)

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			支援のアイデア	
	背景となる特性			
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓	汲み取ってもらう、察してもらうではなく、 A) 具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい		
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい		
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起きていることへの関心が薄い		B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える (見え方の視点・やりとりの視点)
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	✓	
		6) 見えないものの理解が難しい	✓	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓	本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのかことを理解するのが難しい		
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい		本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点）
		11) どのようにして伝えたいのか分からない	✓	
		12) 誰に伝えていいかわからない		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい		
	変化への対応が難しい	16) 段取りを適切に相むことが難しい		G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える（時間の視点）
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい		
		18) 今やることを自分で判断することが難しい		H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする（時間の視点・場所の視点）
感覚	物の一部に対する強い興味	19) 先の予測をすることが難しい		I) 夫々をする（方法の視点）
		20) 臨機応変に判断することが難しい		J) 最初から正しい方法で行うことができるように
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい		
	感覚が敏感または鈍感	22) 興味関心が狭くて強い		K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする（場所の視点）
		23) 細部が気になり違いに敏感		
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる		
		25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	✓	
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある		
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	✓	L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する（場所の視点）
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある		
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある		
		30) 前庭覚の特有の感覚がある		

氷山モデルシート



個人ワーク | 支援のアイデアを選ぶ

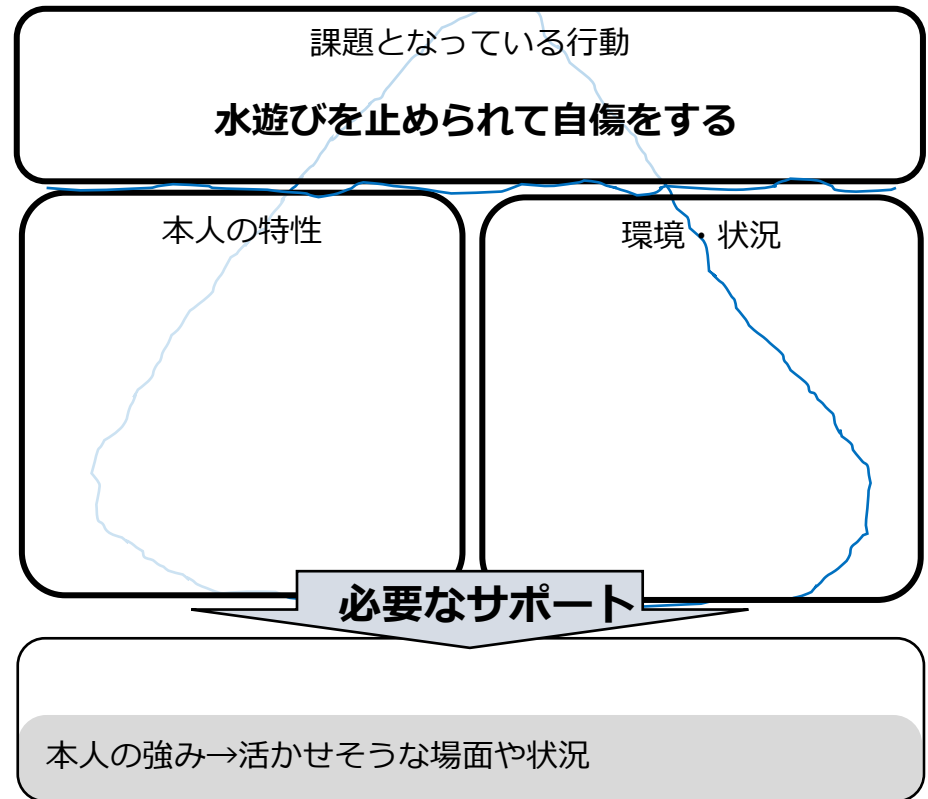
1. 特性確認シート（冰山演習用）の支援のアイデアから、田中さんの支援に使えるようなものを2～3項目選びます。
2. 冰山モデルシートの必要なサポート欄に転記します。

さらに「強み(ストレングス) 確認シート」を使って 具体化します

強み(ストレングス) 確認シート (冰山演習用)

本人の強み (ストレングス)	活かせそうな場面や状況
わかること・できること 例) なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など ・長い距離でも歩くことができる ・お茶を見せるとベンチに座って飲むことがわかる ・絵本の「くるま」を見て「外出」するのだと理解したことがある	
好きなこと (遊び方、過ごし方、キャラクターなど) やりたがること 例) ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ビックリはまる 色を合わせる ・キラキラするものが好き ・静かな部屋で一人で過ごす ・同じマークを見つけると重ねている ・ゆれる感覚に没頭することがある	 ・マークを使って活動の理解ができないか ・ゆれる感覚で適切な遊びを提供できないか
得意なこと (これには助けられているなど) 見方を変えれば得意かもしれないこと 例) 目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる ・こちらの意図がわかれば素直に応じてくれる ・人には関心がないが物には注目できることが多い	 ・物を使ってルールを伝えることはできないか ・タイマーで終わりを伝えられないか
その他	

冰山モデルシート



本人の強み（ストレングス）を活用して 活かせそうな場面や状況を書き出します

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
わかること・できること 例）なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など ・長い距離でも歩くことができる ・お茶を見せるとベンチに座って飲むことがわかる ・絵本の「くるま」を見て「外出」するのだと理解したことがある	
好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やりたがること 例）ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ピッタリはまる 色を合わせる ・キラキラするものが好き ・静かな部屋で一人で過ごす ・同じマークを見つけると重ねている ・ゆれる感覚に没頭することがある	 ・マークを使って活動の理解ができないか ・ゆれる感覚で適切な遊びを提供できないか
得意なこと（これには助けられているなど） 見方を変えれば得意かもしれないこと 例）目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる ・こちらの意図がわかれば素直に応じてくれる ・人には関心がないが物には注目できることが多い	 ・物を使ってルールを伝えることはできないか ・タイマーで終わりを伝えられないか
その他	

個人ワーク | 活かせそうな強みと場面

1. 強み確認シート**の強みを見ながら、支援に活か
せそうな場面や状況を考えます。**
2. 氷山モデルシート**の必要なサポート欄に支援に
活かせそうな強みと活かせそうな場面を転記し
ます。**

グループワーク | 活かせそうな強みと場面

1. 司会・記録を決めます

2. 選んだアイデアをグループで共有します

※ワークシート⑥「冰山モデルシート（グループ用）」に記入

3. 活かせそうな場면을グループで共有します

※ワークシート⑥「冰山モデルシート（グループ用）」に記入

氷山モデルシートが完成しました

課題となっている行動
水遊びを止められて自傷をする

本人の特性

環境・状況

必要なサポート

(支援のアイデア)

(本人の強み→活かせるような場面や状況)

演習のまとめ | 行動の背景と捉え方

- 課題となる行動には、障害特性に起因する何らかの理由がある
- 「冰山モデル」を使った行動の背景を捉える考え方が有効
- 「本人の特性」と「環境や状況」を整理し課題となっている要因を明らかにする事が根拠に基づいた適切な支援の第1歩
- 導き出された支援のアイデアは、本人の強みを使って具体化される